

民主惨敗予測に悲壮感

年内解散総選挙を想定し、7人の現職議員はすでに選挙モードに突入。先が見えない野田政権と同様、衆院選が「0増5減」の打撃を直接被る本県にとって野田首相の「近いうちに」に踊らされながらも、来年8月に任期満了を迎えるため選挙が行われることは間違いない。

自民党追い風、鈴木氏に注目!

内閣不信任案か、野田総理が参院での問責決議が可決され臨時国会で所信表明演説も出来ずの状況にあり、「0増5減」と赤字国債発行法案の成立と引き換えに解散を迫る自公両党と話し合いで法案を衆参院で通し解散総選挙となれば、「0増5減」の定数は正には審議会と国民への認知期間

が必要であり、年内選挙となれば従来通りの全県3選挙区で選挙が行われる。自民党は追い風の中、支持者は戻り1区稲田朋美、2区山本拓、3区高木毅氏がよほどの不祥事が無い限り順当に議席を獲得できる。焦点は、1区に第3極の党から鈴木宏治県議が出馬となると、稲田

前回の衆院選結果 当選日平成21年8月30日

小選挙区	第1区	得票数	党派	当選回数
当	稲田 朋美	78,969	自前	2
復活当選	笹木 竜三	72,119	民前	4
	金本 幸枝	6,940	共新	
小選挙区	第2区			
当	山本 拓	80,033	自前	5
復活当選	糸川 正晃	78,496	民前	2
	河合 勇樹	2,403	諸新	
小選挙区	第3区			
当	高木 毅	80,724	自前	4
復活当選	松宮 勲	74,158	民元	3
	北野 光夫	4,058	諸新	
比例代表単独	北信越ブロック			
当	若泉 征三		民前	2

氏は初挑戦時と同様、激戦で苦しい争いとなる。3年前の自民逆風の中でさえ、保守王福井と高知県は3

選挙区すべてで民主に競り勝ち、自民現職3人が全員当選した。稲田氏は自民党の看板、負けるわけにはいかない。

野田政権崩壊寸前

橋下大阪市長が「日本維新の会」を結成すれば、石原慎太郎東京都知事も国政復帰を表明、新党結成に動く。安倍晋三自民党新総裁は、野田総理の「近いうちに」を盾に年内解散を迫るが、野田内閣が自らこけるのを待って来年8月の衆参同時選挙で起死回生を狙うのも一考。

第3極の連携なるか

石原慎太郎氏が10月25日、東京都知事を辞職することを表明。保守勢力を結集し、東京比例代表での国政復帰を表明。明治以来続いた中央官僚の支配政治を変えバランスシートによる財政改革、新憲法制定も視野に入れ「たちあがれ日本」は解党、新党を結成し石原慎太郎氏が代表となり

「日本維新の会」橋下徹代表、「みんなの党」渡辺喜美代表と連携し自民、民主党に変わる第3極としての役割を最後のご奉公として担う構想。日本維新の会代表の橋下大阪市長は全国遊説を開始した。10月20日、九州鹿児島、熊本、福岡を縦断。橋下氏は街頭演説で「お金が足りないなら負



「近いうちに」野田佳彦首相

担を求めるか、歳出を削減するか、政治の責任で予算の収支均衡を図らなければいけない」また「国の根本を変え、新しい日本をつくる。楽なことしか言わない政治から脱却しないと日本は本当に駄目になる」などと述べ、次期衆院選の支持を訴えた。民主党の輿石幹事長は、違



新党結成へ石原慎太郎氏

憲状態の1票の格差と定数是非、社会保障制度改革、国民会議の1日も早い立ち上げなど避けて通れない課題が臨時国会最大のテーマになるだろうと発言。自民党の石破幹事長は、8月4日から2カ月を経過し、「近いうち」をどう考えているのか、主権者たる国民との約束でもある早期解散